

高速道路で逆走?! その時、あなたは避けられますか?

～ 今、高速道路で起きている信じ難い現実～

1 高速道路における逆走事案の実態

(1) 2年間で447件の逆走事案を認知

警察庁では、平成22年9月より本年8月末までの2年間で、全国の高速道路で警察(以下「高速隊」という)が取り扱った逆走事案について、調査を行って参りました。その結果、447件の逆走事案の取扱いがありました。

上に示す「逆走事案」とは、高速隊において認知・対応をした逆走事案のうち、逆走当事者を確保して事情聴取をすることができた事例を対象としています。

逆走事案に対応しても、高速隊が逆走当事者の確保に至らず、未発見に終わる事例は計上していません。

(2) 年々交通事故に繋がる逆走事案が増加

高速隊で扱った逆走事案のうち、逆走車両が交通事故を誘発したものを「死亡事故」「人身事故」「物損事故」、事故の発生前に逆走行為者を確保したものを「確保」と分類しましたが、最近では物損事故以上の交通事故に発展するケースが目立ち、死傷者も増えています。

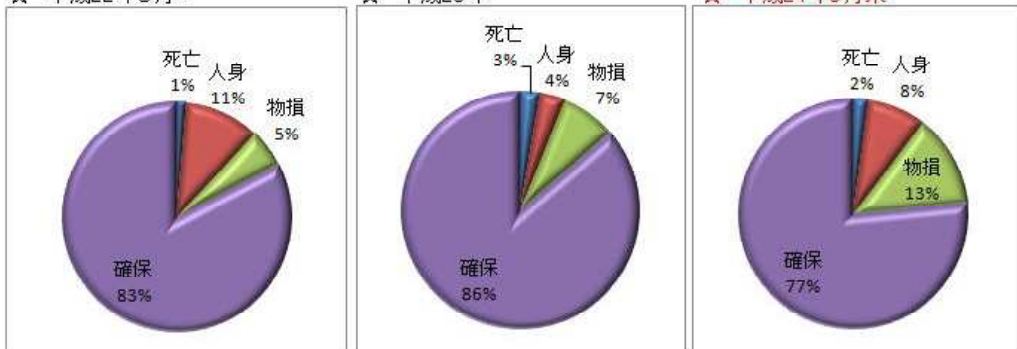
○ 逆走調査開始後の事案別割合

| | 平成22年9月～ | 平成23年 | 平成24年8月末 |
|----|----------|-------|----------|
| 死亡 | 1 | 6 | 3 |
| 人身 | 8 | 8 | 12 |
| 物損 | 4 | 17 | 19 |
| 確保 | 62 | 196 | 111 |

☆ 平成22年9月～

☆ 平成23年

☆ 平成24年8月末



(3) 高齢運転者による逆走が7割以上を占める

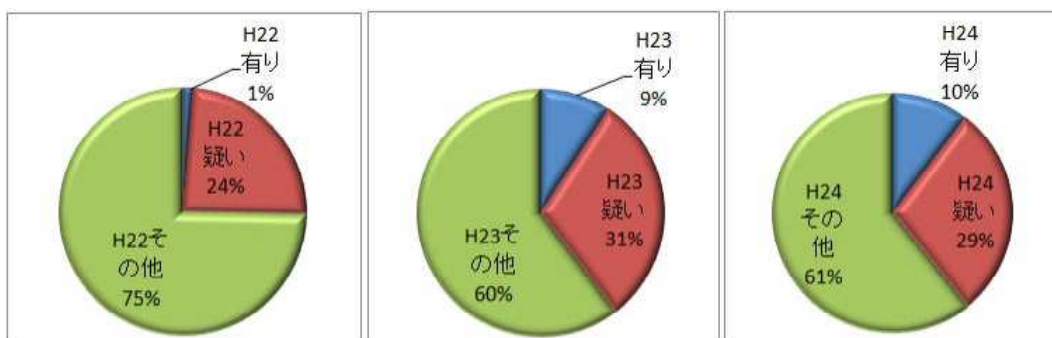
逆走した運転者の年齢をみると、65歳以上の高齢運転者の割合が年々高くなっており、中でも逆走当事者の言動や家族の話などから「認知症」や「認知症が疑われる」ケースが多くを占めている実態が浮かび上がりました。

広報資料

反面、忘れ物や落とし物をしたからなど安易な考えで逆走をする若年運転者も存在しています。

○ 逆走事案総数に対する高齢者の割合推移

| | 事案総数 | 高齢者 | その他 | 高齢% |
|------|------|-----|-----|-------|
| 高齢22 | 75 | 44 | 31 | 58.7% |
| 高齢23 | 227 | 154 | 73 | 67.8% |
| 高齢24 | 145 | 104 | 41 | 71.7% |



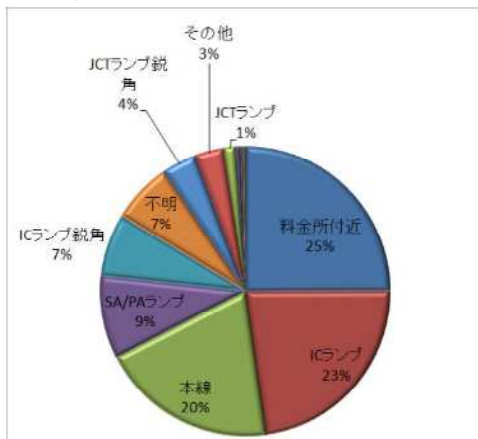
※ 「有り」とは、家族等により認知症を患っているか確認ができた件数を示す。

※ 「疑い」とは、家族等による確認は取れなかったが、言動等からその疑いが高い者を示す。

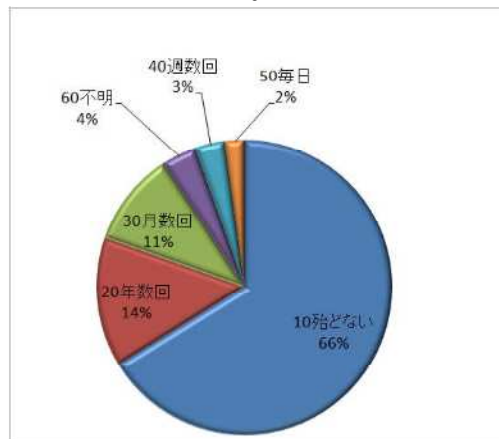
(4) 逆走開始場所と高速道路の利用頻度

逆走当事者がどこから逆走を開始したのかを分析すると、「料金所付近」「ICランプ」「本線」等が多いことが判明しました。

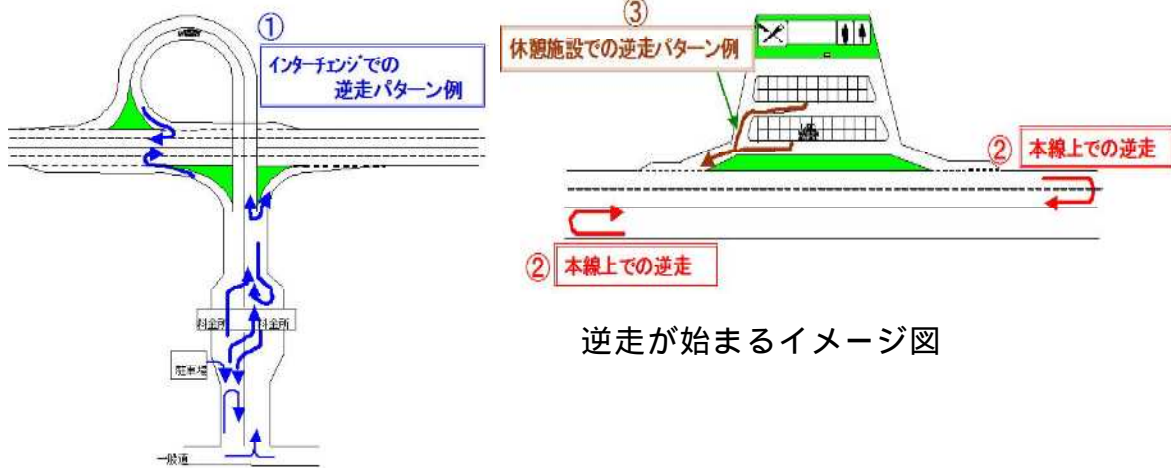
また、逆走当事者の高速道路利用頻度を調査すると、「高速道路の利用経験が殆どない」と回答した人が最も多くなっています。



逆走当事者の逆走開始場所



逆走当事者の高速道路利用頻度



(5) 信じられない逆走理由

職務質問等により、逆走当事者に逆走理由の確認が取れた事例を分析すると、「道を間違えた。」というのが一番多いのですが、中には「降りようとしていたインターを通り過ぎてしまい戻ろうとした」「本線上に携帯電話を落としたので取りに戻ろうとした」「交通事故を起こしたため、逃げようと思ったから」等のように、故意に逆走するという信じられない逆走理由も散見されました。

例え路肩であっても、高速道路での逆走は、他の一般車両に与える驚愕は想像を超え、他車に交通事故を誘発させる原因となりますので、高速道路ではどのような理由があろうと絶対に逆走をしてはいけません。

2 逆走車によって引き起こされる重大事故

(1) 重大事故発生率の違いが顕著

高速道路のように、車両が定められた進行方向と逆方向に走行する「逆走行為」は、車両が高速で走行し、かつ他に逃げ場所の無い閉鎖された空間においては、重大な事故に直結するたいへんに危険な行為です。

逆走車両に遭遇した場合に最も気をつけなければならないことは、逆走車両との衝突もさることながら、逆走車両に驚愕するあまりに急ハンドルを切ったり急ブレーキをかけたために他の順行車と衝突してしまったり、中央分離帯や側壁などに単独衝突してしまう等の事故を招いてしまうことです。

下の表のように、死亡事故に発展する確率も非常に高いことが明らかになっています。

○ 逆走事故内容別の発生率(物損事故も含む)

| | 死亡 | 人身 | 物損 |
|--------|-------|-------|-------|
| H22.9~ | 7.7% | 61.5% | 30.8% |
| H23中 | 19.4% | 25.8% | 54.8% |
| H24.8末 | 8.8% | 35.3% | 55.9% |
| 平均 | 12.0% | 40.9% | 47.2% |

○ 逆走事故内容別の発生率(物損事故は含まず)

| | 死亡 | 人身 |
|--------|-------|-------|
| H22.9~ | 11.1% | 88.9% |
| H23中 | 42.9% | 57.1% |
| H24.8末 | 20.0% | 80.0% |
| 平均 | 24.7% | 75.3% |

○ 高速道路全人身事故に占める死亡事故発生率

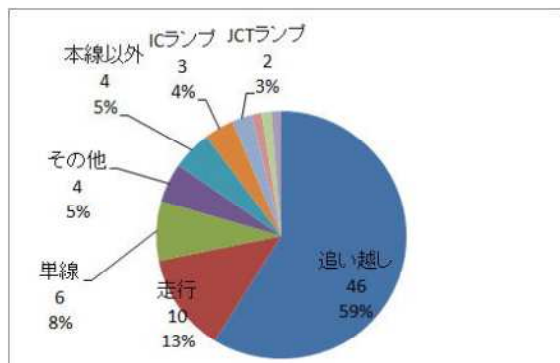
| | 全人身事故 | 内死亡事故 | 死亡事故率 |
|--------|--------|-------|-------|
| H22中 | 12,200 | 166 | 1.36% |
| H23中 | 11,708 | 188 | 1.61% |
| H24.8末 | 7,154 | 134 | 1.87% |

※ 数値は件数を示す。

広報資料

(2) 逆走車両は追越車線を走行することが多い

逆走車両の運転者は、自分が逆走しているという感覚がない場合が多く、順行車両からみると”追越車線を逆走してくる”ケースが多いようです。このことが、順行車両のドライバーに身の毛もよだつ驚愕を与え、重大な交通事故へ発展することが多いとも考えられます。



物損事故以上の交通事故78件（2年間）について、逆走車両が走行した場所を分析したところ、約6割が追越車線を走行していたことが判明した。

3 高速道路で逆走車両と衝突しないためには

(1) 安全な速度で前方の安全を確認しつつ走行する！

高速道路には歩行者もいないし、信号もないから安全だと思っていませんか？一定の時間、高速走行をしていると、速度感覚が鈍り、自分が高速度で走っていることを意識しなくなります。

こうした落とし穴に陥らず、交通事故を起こさないためには、いつでも、何があっても対応できるような安全な速度で、前方の道路状況を確認しながら走行しましょう。

(2) 万が一、逆走車両がいても冷静な対応を！

『逆走車両があると驚愕してしまうかも・・・。』

でも、急ハンドルや急ブレーキをかけたことによって、逆走車両との衝突は避けられても、周囲の車両や後続車両と衝突したり、側壁やガードレールに衝突してしまいます。

まずは冷静に、周囲の状況を確認して交通事故を避ける努力をしてください。

(3) 「もしかしたら、逆走車両がいるかも知れない」という防衛運転が大切！

”高速道路は何が起こるか判らない道路”です。

逆走車両に限らず、落下物や故障車両、交通事故で停止している車両や立ち入り歩行者など、危険がいっぱいです。

速度が速い分、一般道では対応できることでも、高速道路では咄嗟に反応できないことが沢山ありますので、あらゆる事を想定・予測して、防衛運転に努めてください。

(4) 臨時交通規制や電光表示板（情報板）の情報に注目！

逆走車両の通報があると、電光掲示板や情報板にその旨が表示され、通行止めなどの交通規制が直ちに行われます。万が一そのような情報を目にした時は、ハザードランプを点滅させ周囲の車に注意を促すとともに、

広報資料

速度を下げ、前車との車間距離を保ちながら走行車線をゆっくり走行し、逆走車両が来ても避けられるよう余裕を持って走行するようにしましょう。

4 安全な高速道路の走り方～交通事故に直結する交通違反～

安全に高速道路を利用するには、安全速度を遵守すること、走行速度に対応する車間距離を保持すること、割り込み行為をしないこと、わき見運転をしないこと、路肩走行をしないこと、などいくつかの基本的なルールがあります。別添資料を参考にして、安全運転に努めてください。



連絡先

交通局交通企画課

長嶋警視正（内線：5090）

中村警視（内線：5095）